

14 番（小川義昭議員）

いずれにしても、これは特別委員会での重い意見でございますので、どうかそのところを重々御配慮いただき、新たにこの個別施設計画も策定されたことでありますので、その方針を踏まえながら、この特別委員会の意見をしっかりと受け止めていって進めていただければなというふうに思います。

最後の質問になりますが、今年の3月会議で質問した生活道路補修などのインフラ整備について、その後の取組状況をお尋ねいたします。

ただいま現在町内を走る生活道路のひび割れ、陥没、アスファルトの劣化による碎石の飛散状況、センターラインや外側線の消耗などなどが各地域で散見されています。

私は3月会議で、それぞれの町内会から出される要望事項などをも含め、生活道路の補修など地域のインフラ整備を、個々の優先度合いを精査、考慮して3年から5年程度の期間で具体的な補修整備計画を策定し、実施してはいかがかと山田市長にただしています。

その際、市長からは、生活道路の破損やひび割れの度合いに基づき、交通量の多い路線や公共性の高い箇所を優先に整備していけるよう今後精査、考慮し、5年間の個別施設整備計画を策定し、随時見直していきたい旨の答弁をいただきました。

あの質問の頃から既に約半年が経過しています。いずれも市民生活、市民の安全に直結し、市民ニーズの高い要望であり、行政が速やかな対応を求められるのは必然であります。

それぞれの町内会から出されている生活道路の補修などの要望事項や地域のインフラ整備などをも含め、5年間の個別施設計画の策定に向けての取組状況について、また、5年間の整備事業に係る予算総額も含めお伺いいたします。